

東京2020大会における子供の競技観戦

目的・ねらい

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、希望する都内公立学校に東京2020大会の競技観戦機会を提供し、東京で開催される大会を直接観戦する体験を通じて、子供たち一人一人に、人生の糧となる掛け替えのないレガシーを残していく。

取組・活動内容

①実施時期

令和3年8月25日～9月5日まで11日間（※8月30日は実施なし）

②実施規模

区市町村立学校/都立学校の参加学校および参加生徒

団体数:4 学校数:120校 幼児・児童・生徒数:9,568名

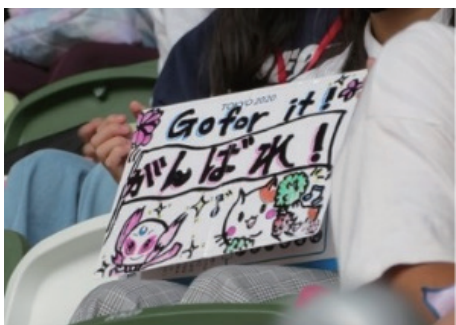
③取組・活動内容

・競技観戦を希望する都内の区市町村立学校および都立学校の幼児・児童・生徒に、都内8会場にて開催される「学校連携観戦プログラム」の対象となる競技を、実際に現地を訪れて観戦した。競技観戦にあたり、事前および観戦後の健康管理、会場内での感染症対策、熱中症対策等を徹底して実施した。

本取組・活動の成果

- 参加した生徒からは「テレビで見たときより、様々な音が聞こえたり、スピードの速さを実感できたり、カメラに映っていない選手のプレーが見られたりと、生で観戦することのすごさ、楽しさを知ることができました。」「コーチやボランティアの方々などが選手を支えている姿を見て、支え合うことの大切さを感じました。」「会場のボランティア、関係者の方、実況の方、皆さんが私たちを歓迎してくださってとても嬉しかったです。」といった感想があった。
- より安全・安心な競技観戦ができるよう希望者を対象とする事前のPCR検査の機会の提供や、貸切バスによる移動など、徹底した感染症対策を実施した。
- 競技観戦を通して、児童・生徒のパラリンピックへの関心が高まると共に、一生に一度の貴重な体験を提供することができた。

活動の様子



応援ボード(兼遮光ボード)による応援



競技会場への移動の様子



競技会場への移動の様子